



金沢大学長

和田隆志

現代社会は、気候変動、政治経済、食糧・飢餓、健康・感染症など多くの地球規模の課題を抱えており、特に気候変動は深刻な問題となっています。今年7月の世界の平均気温は、史上最高となりました。「地球沸騰化の時代が到来した」と国連は警鐘を鳴らしています。気候変動等の諸課題に対し、大学に求められる役割はますます大きくなっています。

金沢大学は、大学憲章に掲げる「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の基本理念に立脚して、揺るぎない未来ビジョン『志』を示しています。未来ビジョン『志』は、地域と世界の2つの視点を往還させながら、未来の課題を探求し克服する知恵「未来知」により社会貢献を果たすことです。教育面では、人類の英知を融合した「総合知」により現代の課題解決を先導します。さらに「未来知」により、国際社会、特に環境においての中核的リーダーとなる人材を育成してまいります。研究面では、世界トップレベルのフラッグシップ研究所群をはじめとする世界的研究拠点の形成と機能強化を促進し、実証研究の展開も含め環境負荷低減に資する研究を推進してまいります。

また、金沢大学環境方針では、基本理念のもと、6つの基本方針を定めています。それぞれの基本方針に基づいた、金沢大学環境基本計画に定める行動目標の達成をめざして、全学体制で環境に配慮した活動に取り組んでいます。2022年3月には、「金沢大学カーボンニュートラルに向けた取組計画」を策定しました。「持続可能な開発目標(SDGs)」に掲げるクリーンエネルギーや気候変動等の目標達成にも寄与する施設、教育、研究・開発、社会共創などの社会の先導モデルとなる取組を最大限推進しています。

本報告書をご覧ください、金沢大学の取り組みへのご理解とご支援を賜る契機となれば幸いです。